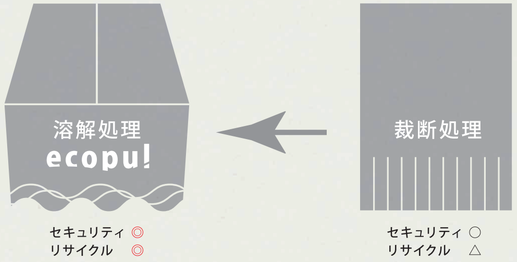
機密書類の処理を、
シュレッダー処理から、
溶解処理へ切り替える
企業や団体が
近頃、増え続けています。

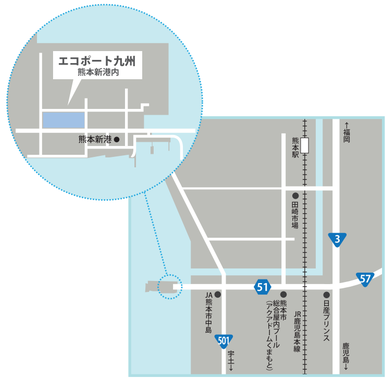
SECRET。



セキュリティ ◎
リサイクル ◎

セキュリティ ○
リサイクル △

機密書類を溶かして再生
ecopu!
安心になる、エコになる、楽になる、得になる。



ACCESS

熊本空港から …… 約30km
桜町バスターミナルから … 約14km
熊本駅前から …… 約12km

● 取扱窓口

R80
古紙パルプ配合率80%再生紙を使用

「刻む」より「溶かす」。



機密書類を溶かして再生
ecopu!
安心になる、エコになる、楽になる、得になる。

機密書類溶解処理事業のご案内

シュレッダーの問題点を溶解処理が解決します。

溶解処理は、
今まで当たり前だと思っていた裁断処理が内包する
様々なデメリットや問題点を補うために開発された、
進化した処理方法です。

溶解処理（ecopul エコパル）なら解決する４つの問題点

問題点① シュレッダーで裁断すると、リサイクルに向きません。

裁断処理では、紙の繊維をばらばらにカットしてしまうので、再生紙にする過程で
排水と一緒に流れてしまったり、再生紙の強度低下の原因になったりするため、
リサイクルには向いていません！ 最終的には焼却もしくは埋立て処理をされてしまうことも多いのです。
また、リサイクルに適したサイズで裁断すると、書類の内容が丸見えになってしまいます。



SOLUTION



**溶解処理なら、溶かした書類は
無駄なく再生紙として生まれ変わります。**

溶解処理なら紙の繊維がそのまま保持されるので、
100%リサイクルが可能です。
溶解後、古紙パルプとして出荷され、
製紙工場で再び紙に生まれ変わります。

問題点② ホチキスやクリップを分類するのが面倒です。

社内でシュレッダー処理をするとなると、ファイルを分けたり、ホチキスの芯やクリップを外したりと、
手間も時間もかかります。処理の最中も、紙くずが飛び散ったり、騒音が気になったり。
さらに1回あたりの処理枚数も限られており、裁断後も裁断くずの処理をしなくてはなりません。
数枚の書類ならまだしも、大量に保管された機密書類等になると、その手間は膨大です。



SOLUTION



**書類は綴じたまま、
回収BOXに入れるだけ。**

溶解処理では、ホチキスやクリップなどを分別する必要がなく、
まとめて処理することが可能です。
そのため、機密書類の入った箱を回収後に第三者が
開封することなく、ダイレクトに溶解することができます。

問題点③ 意外に毎月のコストがかかっています。

シュレッダーもオフィスでは消耗品。
紙詰まりの対応や、刃のメンテナンス、機械の掃除などは日々欠かせません。
それにかかる費用や人件費などを機械のリース料とは別に、毎月支払っているはず。
さらに電気を使用し、CO_2も排出してしまっているのが現状です。



SOLUTION



**ランニングコストの負担がないので、
大幅な経費削減につながります。**

	シュレッダー処理	溶解処理
リース料	約3,400円/月（約40万円のもの）	800円/月（3年リースの場合）
処理費	約400円/月（熊本市の場合）	950円/箱（紙のみの場合）※
人件費	約500円/月（時給1,000円で計算）	0円/月
メンテ費	約1,000円/月	0円/月
合計	約5,300円/月	1,750円/月

1ヶ月に20kgの機密書類を処理する場合の対シュレッダー比較（弊社調べ）

約70%のコストダウン

※熊本県外については別途ご相談願います。

問題点④ 企業の社会的責任（CSR）として、リサイクルは不可欠です。

個人情報や自社の機密情報などを管理することは企業の責務です。
また、環境保護やリサイクルへの取り組み、循環型社会形成に寄与することも、
社会活動を営む企業としては欠かせないものになってきています。
きちんとした処理が最後までなされているか、機密書類の行く末を把握することも大切です。



SOLUTION



**溶解処理なら、古紙だけではなく
溶解に使った水まで100%リサイクルします。**

溶解処理では、パルプはもちろん、一緒に溶かした
ファイルやクリップなどから出る廃プラスチックや金属屑も、
ボイラーなどの固形燃料や製鋼材料としてリサイクル。
溶解に使う水も再利用しています。